

6月補正予算

【一般会計】	4億 5,614万 5千円
【特別会計】	2,611万 4千円
【企業会計】	8,246万 6千円
【補正総額】	5億 6,472万 5千円

※一般会計、特別会計、企業会計を合わせた予算総額の前年度同期比は、0.2%の増となります。

【一般会計補正予算の主な内容】

- ◎ 民生費…… 1億 7,197万 9千円
介護基盤緊急整備等特別対策事業費補助事業、老人福祉施設整備事業費補助事業 ほか
- ◎ 商工費…… 8,392万 8千円
誘致宣伝事業、冬季観光振興事業費補助事業 ほか
- ◎ 土木費…… 1億 495万 5千円
単独地方道路整備事業、市営住宅個別改善事業、海岸漂着物地域対策推進事業
- ◎ 消防費…… 1,758万 7千円
消防事務組合負担金事業（高規格救急自動車の更新整備）
- ◎ 教育費…… 600万円
稚内市子ども芸能祭・南中ソーラン祭開催事業

が利用できる「係留施設」や「トイレ」の設置、また「情報提供」が可能な施設とされ、本市は、稚内ポートサービスセンターと稚内副港市場が登録されました。

「わっかない海の駅」は、平成19年11月に、北海道第1号で登録された「みなとオアシス稚内」のエリア内で、「稚内副港市場」「フェリーターミナル」「キタカラ」「北防波堤ドーム公園」「道の駅わっかない」など、中心市街地活性化や駅前再開発により、港と一体となったまちづくりを推進している地区に位置をします。



「わっかない海の駅」のプレートが設置された稚内副港市場

に稚内副港市場で開催し、北海道運輸局から「海の駅登録証」の伝達が行われ、記念プレートの除幕も行なわれました。

また、先月18日には、第1号の利用者として、ニュージラードから親子3名が乗船した大

型ヨットが寄港し、歓迎セレモニーを行っています。

今後、日本の最北端にある「海の駅」道の駅「鉄路の駅」など、地域の魅力を最大限に活用しながら関係者の皆さんと連携し、「賑わいづくりへの取り組み」を積極的に進めていきます。

稚内市特別職報酬等審議会への諮問について

去る5月21日、稚内市特別職報酬等審議会を開催し、特別職の給料並びに市議会議員の報酬について諮問いたしました。今回の諮問については、平成

23年に開かれた同審議会において「審議会の開催は国内外や市内の経済状況、さらには、道内の各自治体の状況を速やかに反映させるため、2年間隔で定期的開催することが望ましい。」との意見があり、開催しました。

現在の特別職の給料額、報酬額は、平成18年3月の同審議会の答申に基づき、市長は10%減額、副市長・教育長そして市議会議員は7%減額して支給しています。

これまで本市では、財政健全化プランに基づき、総体的な人件費の抑制に努め、財政運営の健全化を進めてきました。

今回の審議会委員の皆さんには、先に述べた経緯等も十分に説明し、審議をお願いしています。

また、報酬等の審議に加え、本年度から実施した一般職員の退職手当引き下げに伴う、市長等の退職手当についても、あわせて審議会の意見を伺いたいとお願ひしていましたが、報酬等の審議に先立ち、すでに審議会からご意見をいただいています。

私としては、審議会からのご意見を十分に踏まえながら、市長・副市長・教育長の退職手当の支給率を一般職と同様に15%引き下げることとし、本定例会に改正条例案を上程しています。

「特別職退職手当の引き下げ」と「職員給与の引き下げ」について議決されました

市では、平成25年7月1日から平成26年3月31日までの間（9か月間）、職員の給与を4〜6%引き下げる内容の条例改正を6月定例会に提案し、議決されました。

これは、国が東日本大震災の復興を支援するため地方に求めた削減要請や市の財政状況などを踏まえて実施するものです。

また、特別職の退職手当の減額※についても必要な条例改正を市議会に提案し、議決されました。

※上記の「稚内市特別職報酬等審議会への諮問について」を参照ください。

●常勤特別職の退職手当の引き下げ

区分	改正前の支給率	改正後の支給率	引き下げ率
市長	100分の540	100分の459	15%
副市長	100分の450	100分の383	
教育長	100分の360	100分の306	

●一般行政職の給料額引き下げ（平成25年7月1日～平成26年3月31日）

区分	標準的な職務内容	引き下げ率
1・2級	係員	給料月額の4%
3・4級	主査・主任	5%
5・6・7級	部長など管理職	6%

※3級以上の職員の期末手当及び勤勉手当の額を給料月額と同様に引き下げる。